

でんでんむしかわいいね。

仙養西自治振興会にお住まいの平岡剛さんが、油木保育所の児童にかたつむりの竹細工をプレゼントされました。児童たちは本物そっくりのかたつむりを手に取り、喜んで遊んでいました。



油木
地区



子供の居場所作り豊松教室 囲碁・将棋クラブ

2年目を迎え、将棋盤に向かう小さな棋士の眼差しも真剣そのもの、指導者との対局も堂々としたもので風格すら漂うほど、豆棋士も、将来の羽生名人を目指しているのかな？

静かな部屋に、将棋を指す音だけが聞こえ外の喧騒（けんそう）を忘れて将棋盤へ集中することも時には必要なことですね、未来の棋士を目指してがんばれ!!



豊松
地区



ドリーム・フェスタ 2006

in とよまつ紙ヒコーキ・タワー

とよまつ紙ヒコーキ・タワーで5月28日（日）、「ドリーム・フェスタ 2006 in とよまつ紙ヒコーキ・タワー」が開催されました。このイベントは、地元の商工会青年部や青年会が中心となって、青少年の健全育成や地元活性化をはじめ、世代間交流を目的として企画されました。

紙ヒコーキ界の第一人者日本折り紙ヒコーキ協会 会長 戸田拓夫さんの紙ヒコーキ教室には町内外から約100人の家族連れが詰めかけ熱心に達人の技の説明に耳を傾けていました。



地域安全教室 ～草木公民館～

草木公民館では地域のお年寄りの孤立をなくし、また地域を再認識することを目的として、様々なテーマで「つどいの会」を毎月第4火曜日に開催しています。

今回は地域のお年寄りの交通と生活の安全確保を目的とした、安全教室を行いました。

講師に福永駐在所の林巡査部長、神石交通安全協会神石支部の新屋理事を迎え、実際にあった交通事故の事例などをもとに交通安全について学び、また昨今の悪質な訪問販売や架空請求への対処方法や、火災による死亡事故の予防など身近な話題をもとに学習しました。

安全教室の後は、バランスのとれた献立による昼食や「健康に暮らすための知恵」と題してグループ討論も行われ、有意義な1日となりました。



田頭田どころ旨い米どころ



田頭地域には、柴田正義さんの手によって34年ぶりに蘇った水車が軽快なリズムを奏でながら回っています。

明治の頃から、その場所には水車が回っていましたが、昭和47年の水害で損壊し、そのまま取り壊されていました。

水車の再建は、父親が倉庫に保存していた輪板を20年前に偶然発見したことがきっかけとなっており、現在の機械精米では味わえない旨い米の味をもう一度味わいたいという積年の思いから、柴田さんが自費で水車を復元し、現実となりました。

今後は、水車でついた米を食べてふれあいを深めるなど、地域の方々にも利用してもらいたいと思っています。



運動会

田植えも一段落した5月21日(日)、三和地区の3会場で開催されました。前日の雨模様を吹き飛ばし、絶好の運動会日和となりました。日頃の運動不足で足腰が衰えているお父さんやお母さんも、子どもといっしょに飛んだり跳ねたりして楽しい楽しい1日を過ごされました。



三和中学校「総合学習で地域を学ぶ」

5月23日(火)、総合学習の一環で、三和中学校の1年生が4つの班に分かれて三和の歴史を実地学習しました。

生徒たちは、本年2月に発行された「観光・研修ガイドブック三和編」に紹介してある地区内の史跡など数カ所について三和郷土史研究会の4名の講師からいろいろな歴史を学びました。

